

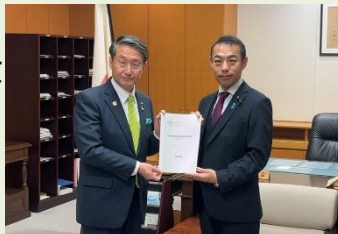
令和6年3月28日

鳥取県知事定例記者会見

令和6年度の能登半島地震等を踏まえた防災対策

地震調査の推進、津波観測の強化

- 能登半島地震を受けて国要望を実施【3月26日】
- ・日本海側の海域活断層の早期評価(今枝文部科学副大臣)
 - 能登半島地震に関する調査への科研費の追加助成
 - 令和6年度中に地表(海底の地形)と津波の関係性を公表
 - 長期評価を部分的にでも新年度中に公表
- ・潮位観測所の増設(国土交通省)
 - 鳥取県とよく協議



空からの救援体制の整備

- ドローン・レスキューユニットを創設し、情報収集や物資運搬に活用

- ・初動時における空からの迅速な情報収集や被害状況把握
- ・孤立集落への緊急支援物資(医薬品、衛星携帯電話等)の運搬

<今後の取組>

- ・県職員のドローン操縦ライセンスの取得(パイロット育成)
- ・県保有ドローン機器の整備・充実
- ・災害時におけるドローン活用推進協議会の設立を呼びかけ協定締結事業者をはじめとして民間事業者・団体と連携して災害時の活用とともに産業・生活の利用利便を支援



今後の被災地支援

～応急対策から復旧・復興支援へ～

- 4月から技術職員等の長期派遣(1年間)

志賀町	2名	土木復旧、農地農業用施設災害復旧業務(技術職)
石川県	1名	土木施設復旧工事に係る用地補償業務(事務職)

- 短期職員派遣は縮小・終了へ

物資の管理	3月末で終了	民間事業者への業務委託へ移行
職員災害応援隊、ボランティア隊	3月末で終了	ボランティアニーズの減少に伴い終了

※家屋被害認定調査、避難者健康調査は4月も継続

<参考:これまでの人的支援(3/28時点)>

- ・鳥取県からの職員派遣のべ891人(うち志賀町615人)
- ・災害ボランティア のべ27人



安否不明者等の氏名等公表(救助活動の効率化)

- 新年度、市町村等と協議し適切に運用

- 迅速な公表で救助活動を円滑化

人命を考えすみやかな公表を目指す(石川県では48時間)

※救出・救助活動の迅速化が図られると判断される場合は、家族等の同意を得ずに速やかに公表。死者については、社会的関心や公益性を踏まえ、遺族の同意を得て公表。

消防学校での支え愛救出活動の研修をスタート

- 発災時における消防団等の救出活動等の総合活動を支援

・消防学校に係る資機材等を整備

生成AI時代における地方自治体のあり方を提言へ

- ▶ 昨年9月『先端技術と民主主義のあり方を考える研究会』を設置し、地方自治体がデジタル社会に対応する上で、民主主義や地方自治の本旨を踏まえ、どのような視点に留意して行政運営すべきか議論を重ねてきた
- ▶ 本日、重要な10の視点を倫理原則として提言にまとめるなど、研究会報告書について最終議論 ※午後4時研究会開催

自治体デジタル倫理原則（素案）

① 住民自治の原則

生成AIをはじめとする先端技術の活用にあたっては、地域のことは、住民の意思に基づいて検討や議論を重ね、決定することが民主主義や地方自治の要諦であることを根本的使命として適正な活用に徹すること

② 人権保障の原則

- ・生成AIをはじめとする先端技術を活用する場合においては、不要な個人データを収集・出力しないなど、個人情報保護を含め住民の人権を守る視点に立って厳正に行うこと
- ・SNS等においても、同様の視点を持ち、必要により対策を講じること

③ インクルーシブの原則

生成AIをはじめとする先端技術は、多様な人々が互いに尊重される社会を実現するために活用されなければならないが、偏見等を生まないように運用するとともに、デジタルスキルの有無により享受する行政サービスの差が生じないように配慮すること

④ パートナーシップの原則

生成AIをはじめとする先端技術を活用する場合においては、住民を含めた多様なステークホルダーと緊密に協働・連携し、お互いに補完し合い高め合うことにより、地域社会の効用最大化を図ること

⑤ 住民起点の原則

デジタル技術の導入や活用を目的化せず、住民等の一連の行動に着目して真の課題の把握やニーズの抽出を行うことにより、住民等が抱える課題を解決し、ウェルビーイングに繋がる有効な方策を総合的にデザインすること

⑥ 人間主導の原則

地方自治体が行う意思決定を生成AIをはじめとする技術が出力した結果に依拠することは排し、出力結果を人間が的確にチェックすることが担保されるようにし、人間が責任をもって精査し、人間の判断で決定する仕組みとすること

⑦ リテラシーの原則

- ・職員がデジタル技術の特性を理解し、適切に活用するためのリテラシーとスキルの向上を図ること
- ・住民が偽・誤情報に惑わされないよう、住民のフィルターバブル等への理解とネット情報についての批判的思考能力を育成するとともに、住民や地域を守るための情報発信に努めること

⑧ 透明性の原則

住民が生成AIをはじめとする先端技術の活用について評価できるよう、活用の状況を明らかにすること。特に、住民等への回答内容にAI等の出力結果が結びついている場合は、その旨を明示するなど説明責任を果たすこと

⑨ ガバナンスの原則

生成AIをはじめとする先端技術の適切な活用に向け、デジタル施策の実施状況や結果・評価を把握して効果を検証するとともに、AI等のアルゴリズム等を把握するなど適正に管理する仕組みを構築して、適切に運用し改善していくこと

⑩ 機動性の原則

生成AIをはじめとする先端技術は急速に発展していくものと想定され、こうした変化に伴いルール等を見直す機会を整えるとともに、「完全な成功」よりも「試行と改良・再挑戦」を重視し、不断のフィードバックにより、アジャイルで機動的な先端技術の活用推進を図ること

<研究会の議論を基に令和6年度に新規事業を実施>

■ シンポジウムの開催

自治体におけるデジタル社会との向き合い方について幅広く議論する場を提供

■ リテラシー教育・啓発の実施

職員向け・・・デジタル技術の活用に必要な情報リテラシー研修を実施
住民向け・・・サイトや広報媒体を通じて情報リテラシー啓発を実施

■ 『フェイク情報対応実証チーム』の設置

大規模災害や感染症流行時等に、フェイク情報(偽・誤情報)の拡散リスクが高まる傾向がある。県民や地域の安心・安全を守るため、庁内に対応実証チームを新設し、安心情報の発信などを強化

中山間地域振興に向けた買物環境や医療体制の新たな展開

中山間地域の実情に即して対策を展開し、「課題解決先進県」を目指す。

買物環境確保対策

新規事業

中山間地域をまたがる広域移動販売支援の開始

・広域移動販売の実情に合わせ運営費継続支援創設

【支援年限期限の撤廃(運営経費の1/2)】

⇒既存事業者を後押しし、新たな事業者の参入促進



買物環境確保推進交付金の拡充

・市町村の買物環境確保事業を包括的に支援(1/2)

⇒特に「先導的」(スローレジや無人店舗等)な買物環境整備は補助率2/3に引上げ

買物環境確保に向けた最近の動き

【関金ストア】⇒3/31開店

・倉吉市関金地区では、地区振興協議会が主体となって県外スーパーを誘致した

「関金ストア」がR6.3.31オープン。



(3/24プレオープン時の様子)

【店舗承継関係】4店舗(丹比店、用瀬店、トピア店、大高店)は複数企業と承継交渉中 ⇒ 機動的に支援を検討

総合診療医の育成・確保対策の強化(4月1日～)

4月から、市町村立病院・診療所設置の8市町(鳥取市、岩美町、智頭町、大山町、南部町、日南町、日野町、江府町)と連携し、県内初の総合診療専門医を「総合診療医育成強化専門員(助教)」として、鳥取大学医学部に配置

※令和6年度は、鳥取大学に業務委託

※成果や課題を踏まえ、令和7年度以降の継続も検討

【専門員の主な業務】

- 医学生及び臨床研修医への教育・キャリア支援(大学等で教育)
- 専攻医への指導強化・キャリア支援(中山間地域医療機関等で指導)
- 県派遣医師(自治医大卒等)への助言(同医療機関等で助言)
- 総合診療医や同専攻医の派遣に係る調整 など

(参考)県内の養成状況(鳥取大学医学部「地域医療学講座」において養成)

・総合診療専門医3人(日野郡内の医療機関で勤務中)

・同専攻医4人(東部を含む中山間地域の医療機関等で勤務中)



「あいサポート運動2.0」スタート

令和6年4月1日から改正「障害者差別解消法」が施行され、「合理的配慮の提供」が民間事業者へも義務化。

平成21年にスタートし、15周年を迎える今年度「あいサポート運動2.0」として新たに展開

○ あいサポート運動キャラバン隊によるハイブリッドキャンペーンの展開

県、県社協、あいサポートメッセンジャー等でキャラバン隊

■ 鳥取商工会議所を皮切り(4月上旬)に各商工会議所、各商工会、業界団体を訪問

- 傘下企業・団体への合理的配慮の提供の研修の実施
 - <<テキスト、DVD、障がい者差別解消に係る事例等の提供
 - <<研修主催者の要望に応じて講師派遣
- あいサポート運動参加への働きかけ
 - <<運動のチラシ(運動の概要、相談・連絡先を掲載)の配布
 - <<参加意向の企業・団体に対して研修教材の提供、講師派遣

⇒ あいサポート運動の認定企業・団体は、公表してアピール

○ 学校でのあいサポート学習の全県展開

総合的な学習の時間等を活用したあいサポート運動の学習について、各地区の小・中学校の校長会で依頼(4月上旬から)

孤独・孤立対策の更なる展開

令和6年4月1日「孤独・孤立対策推進法」施行
→「孤独・孤立対策地域協議会」を設置するとともに、「とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」(R4.9設置)の活動を強化

「孤独・孤立対策地域協議会」の設置

プラットフォームの幹事団体を構成団体として、孤独・孤立に係る個別事案が発生した際の対応を行う孤独・孤立対策推進法に定める協議会を設置

※協議会に事務局を設置

- ・孤独・孤立に関する個別事案発生の際、協議会を開催し、当事者等への支援に繋げる
- ・支援の輪をさらに広げるためプラットフォーム構成機関を拡大(4/1から公募開始)
- ・普段あまりつながりのない県内各地で活動する支援団体を集めた分野別ワークショップを開催し悩みや解決法、好事例を共有化
- ・プラットフォーム構成団体が行う孤独・孤立対策に関する講演会、フォーラム等を支援 ※30万円×2/3(補助率)
- ・メルマガの発信、情報連携ツールを通じた団体間の交流促進

⇒ 4/1「孤独・孤立対策地域協議会事務局」設置式

シン・子育て王国とっとり本格始動！

子どもの医療費完全無償化

子どもの医療費助成
(小児特別医療費助成制度)

令和6年4月1日から
18歳以下の医療費が
無料になります！

※18歳に達する3月31日までの方が対象です。



子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちが安心して必要な医療を受けられる環境へ！

夜間や休日に受診すべきか判断に迷ったときは・・・

緊急性の低い軽症の場合は、医師への過重な負担や救急医療に支障を来さないよう、まずはとっとり子ども救急ダイヤル（#8000）へ（4月より、24時間365日受付に拡充）

こどもの国新型遊具完成

50周年記念遊具「ふわふわドーム」が
3/30(土)新たにオープン！

「雨の日でも遊べる場所を」と
全天候型屋根設置

オープン日には、お披露目式・バルーンリリースイベント開催



子育て王国アプリリニューアル

子育て世帯にお役立ち情報を届けるよう、R6年度中にリニューアル！

- 子どもの年齢に応じた情報をプッシュ配信
- 知ってもらいたい情報を常時トップにバナー表示
- こどもの遊び場、親の憩いの場等の検索機能追加



カップル倍増プロジェクト Ver2

民間マッチングアプリ会社との連携協定

鳥取県 × オミカレ

中四国
で初

<協定締結式>

3/30(土) (鳥取砂丘フィールドハウス)

[協定に基づき実施する事業内容]

- ・オミカレと連携した大規模マッチングイベントの開催
- ・オミカレ会員とえんトリー会員のリアルでの相互交流
- ・オミカレ会員とえんトリー会員のマッチング



(株) オミカレ (東京都) について

婚活パーティーポータルサイト「オミカレ」やマッチングアプリ「オミカレLive」等の婚活支援サービスを展開

連携の第1弾として、大規模マッチングイベントを
5/25(土)に鳥取砂丘で開催予定

メタバース婚活イベント

3/20にバーチャルイベントを開催。3組のカップルが成立！

3/23には、リアルデートイベント実施



>> このほか、子どもミーティング、不妊治療費の拡充、男性育休の促進など「シン・子育て王国とっとり」が本格スタート！

運輸業の持続性確保に向けた体制の充実

◆4/1から働き方改革関連法の「自動車運転の業務」への適用が開始。
(トラック・物流関係)

⇒物流の2024年問題に対応し、
相談窓口を通商物流課内に設置

「ロジスティクス・物流の困りごと相談窓口」

- とりロジダイヤル ☎0857-27-7850
- 物流よろず相談から法令関係、物流課題解決まで（専門家派遣）

(バス・タクシー関係)

⇒コミュニティ・ドライブ・シェア推進（交通事業者主導型）
R6からは求人広告費やコンサル経費、車両安全装置等補助メニューを拡充

ゼロゼロ融資からの脱却へ

【現状】・ゼロゼロ融資の残高は1,375億円、これまでに30%超が返済
・借入6,600社のうち、75% (5,000社) が正常返済中

「金利のある世界」に備えて、資金繰りや経営改善支援

- ゼロゼロ融資の借換資金など、低利・低保証料率の資金繰り支援
借換資金(最大15年)の新設(4月受付開始)、期日一括返済型資金、物価高騰対策特別資金等 ※金融機関等による返済緩和等柔軟な条件変更を要請
- とっとり企業支援ネットワークを活用した経営改善支援
経営改善、専門家派遣経費の支援を充実し、事業者の経営状況をモニタリング

春からのお出かけが便利に！

◆東部地域（智頭谷、若桜谷、河原・郡家）で鉄道・バスが乗車できる共通パスをリニューアル

(実施期間4/1～10/31)

- ☑ 使いやすい1 day券を新設
- ☑ 若桜谷に加えて智頭谷にも導入
- ☑ JR因美線・日ノ丸バス、日交バスに加え、くる梨、ループ麒麟獅子バス、やずバスなどコミュニティバスも



※JR西日本観光型MaaSアプリ「tabiwa by WESTER」で販売



新型やくも (273系) デビュー！

◆新型「やくも」がいよいよ4/6から運行開始

[4月6日(土) 運行開始記念セミナー開催]
日時：米子駅1番のりば 9時10分頃～9時35分頃
対象列車：やくも10号(米子9時35分発)



[4月6日(土)の下り初便ではお出迎えを実施]
やくも5号で米子駅下車(11時25分着)の方に記念品を配布



記念乗車証

ペーパークラフトティッシュケース

令和6年度の新体制

「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」の設置

○若者Uターンや定住施策を産学官・若者と連携し実践

若者と繋がる「教育委員会」「鳥取大学などの高等教育機関」や就職先となる「企業・商工団体」、若者組織「とっとり若者活躍局」、「都市部の本県関係若者団体」などが一丸となって若者のUターン・定住に向け協働

⇒鳥取大学と、キャリア教育や県内定着について協議する場を調整中

<各組織・団体が取り組む実践内容例>

- 高校生・大学生等を対象とした「とりふる」「バーチャルとっとり」の登録促進の展開
- 高校卒業（県外進学）・大学卒業後の生徒・学生のフォローアップ、Uターン支援窓口の設置
- 首都圏「若い鳥取県応援団」との連携PR など

とっとり若者活躍局 令和6年度メンバー募集中！

4/11 (木)
締切

➤ 対象 … 高校生～30代まで

➤ コアメンバー：若者活躍局の中心となって活動を行う（対象：県内在住者）

・広聴活動等を踏まえた県への政策提案 ・メンバー自身がプロジェクト活動を企画・実施

<具体的な活動例>

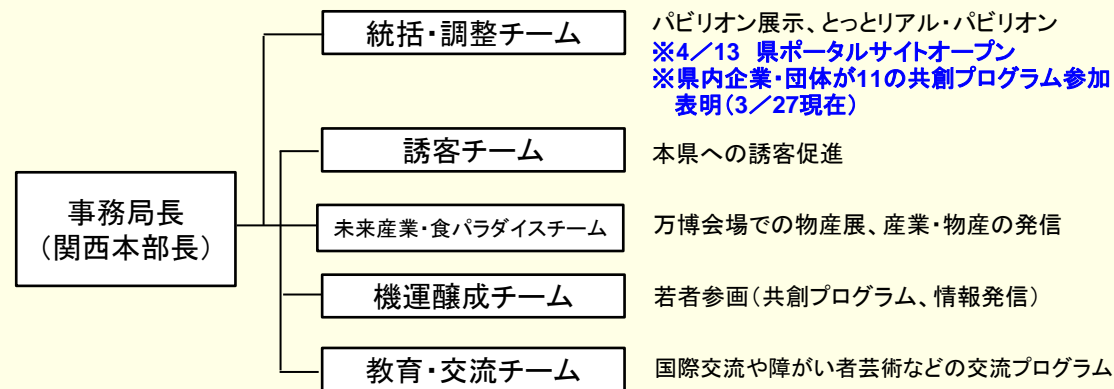
- ・移住・定住の促進や出会い・子育てを応援する取組などに関連したプロジェクトの企画・実施、鳥取県の魅力の発掘・情報発信
- ・県担当部局との意見交換や広聴活動を踏まえた県への政策提案

➤ サポートメンバー：可能な範囲で活動に参加する（対象：県外在住者もOK）

・政策提案のアイデア出し ・様々なプロジェクトへの参画

大阪・関西万博推進に向けた体制

○大阪・関西万博の本県展示の準備や、万博来訪者の本県への誘客促進に向けて、**全庁体制を構築**



名古屋代表部が新事務所で業務開始！

4 / 1

名古屋の繁華街のランドマーク中日ビル（名古屋市中区栄）

<新生「中日ビル」>

・多くの集客＋メディア等の注目 ⇒ **情報発信機能強化！**



<展開例>

- ・中日ドラゴンズ・スポンサーゲームの初開催
鳥取県は竜の化身！?“とっとりユウ”デー（5/24）
- ・中日ビルでのプロモーション活動
集客イベントでのPR活動、フリースペースでのPR展示
- ・観光トップセールス
- ・中京圏メディアへのプレスリリースやキャラバンの強化

新型コロナ対応の総括

令和2年1月に国内初、同年4月に県内初の感染者確認以降、県民の命と健康を守るため、流行状況に応じ臨機応変に対策を実施

【第1波～4波】(令和2年1月～令和3年6月)

- ・「早期検査」「早期入院」「早期治療」の「鳥取方式」を基本に対応。徹底した疫学調査、早期・幅広検査で感染拡大を抑制
- ・入院協力医療機関の病床確保、幅広い医療機関での外来対応等の基本的な対応の枠組みを構築

【第5波[デルタ株]】(令和3年6月～12月)

- ・第4波までと比べて感染者数が増加し、従来の対応では病床ひっ迫が懸念される状況
- ・メディカルチェックで病状評価を行い入院等療養先を調整。宿泊及び在宅療養も組み合わせた「鳥取方式+α」へ対応を変更

【第6波～8波[オミクロン株]】(令和4年1月～令和5年5月)

- ・感染者が爆発的に増加。感染力は強い一方で、病原性は従来株より低いというオミクロン株の特徴
- ・原則在宅療養として健康観察や食料品搬送など療養支援を重層化し強化。重症化リスク等に応じた入院調整や早期投薬で死亡や重症化を抑制
- ・令和4年9月からは全国に先駆けて発生届の対象を高齢者等に重点化。「陽性者コタ外センター」を新設し、療養先調整・療養サポートをスピードアップ

感染状況の推移

<新規感染者数>

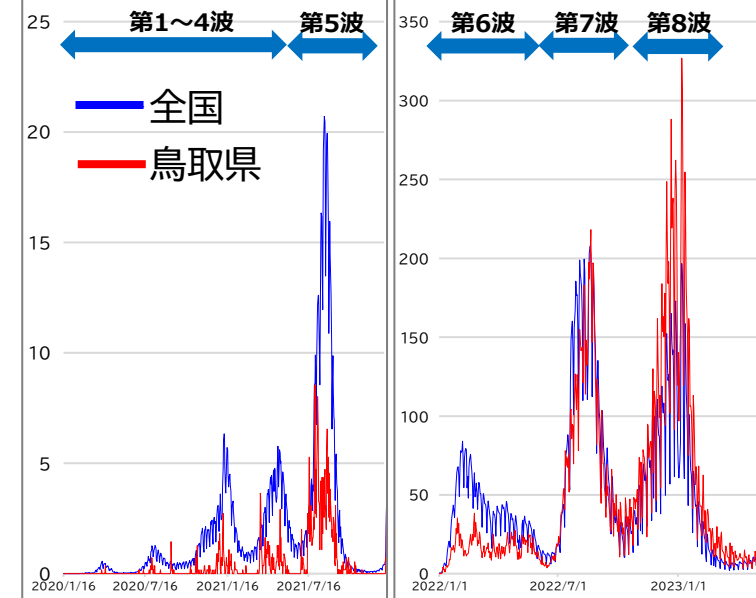
- R5.5.7までに県内143,971名、全国33,802,739名の感染者
- 本県では、流行初期から、徹底した疫学調査、早期・幅広検査により、感染拡大を全国でも最も低いレベルに抑制
- 5類移行後、第9波、第10波を経て、2月下旬以降減少傾向

<死亡者>

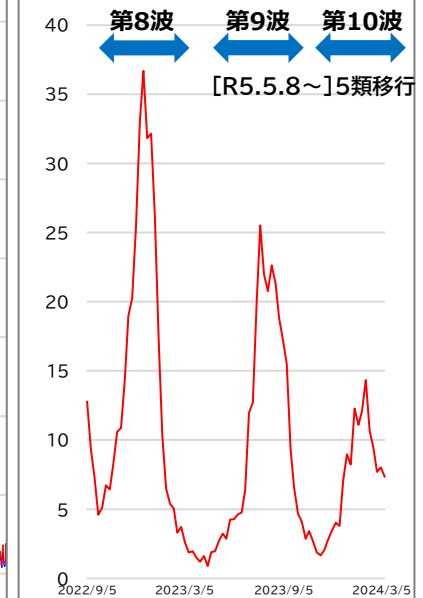
- R5.5.7までに県内で267名、全国で74,669名の死亡者
※死亡者には別死因による者(新型コロナが直接死因ではない者:県内267名中174名)も含まれることに留意が必要
- 第5波までと比べ、オミクロン株による第6波以降の致死率は低下
※第5波までの致死率(死亡者数÷感染者数) 0.30% ➡ 第6波～第8波の致死率 0.18%
- 5類移行後、死亡者(超過死亡)の顕著な増加は見られていない

新規感染者数の推移

[～R5.5.7]人口10万人対による全国との比較



[R4.9～]定点・週当たり報告数



4月以降の新型コロナ等の感染症対策の体制

- 4月以降は**感染症対策センター(県版CDC)**を中心に対応
- 新型コロナ対策の経験を踏まえ、今後、県新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを行い、有事の即応体制を強化

情報収集・分析研究	・感染症発生動向調査(定点等医療機関からの患者数報告) ・変異株のゲノム解析 ・集団感染事例の報告(医療機関、社会福祉施設等からの報告) ➡ 県版CDCとして、感染症の専門家の知見も踏まえて流行状況等を分析
情報発信	・毎週の感染症情報の発信 ・感染拡大時の注意喚起(予防対策等)
人材育成	・鳥取大学医学部臨床感染症学講座(寄附講座)との連携 ・新興感染症発生を念頭に研修・対応訓練
クラスター対応	・集団感染事例の報告を受け、必要に応じて、保健所・社会福祉施設の所管課等と連携して感染拡大防止
医師会等との連携	・感染症対策連携協議会(医師会、看護協会、感染症指定医療機関等が参加)での情報共有、協議

4月以降の新型コロナ対策

- 一般感染対策について、流行状況に応じ、自主選択による感染対策 (患者数に応じた流行情報(注意レベル・警戒レベル)の発表は継続) ※令和6年4月1日以降変更:青字
- 令和6年4月以降は通常の医療体制に移行 (感染動向・集団感染事例の把握、変異株の監視は継続)

入院	・確保病床によらず、医療機関間で入院調整・受入れ	医療費の公費支援	・ 新型コロナ治療薬等の公費支援は終了 ・高額療養費制度等により負担軽減
外来	・特定の医療機関ではなく、広く一般的な医療機関で診療	罹患後症状(後遺症)対応	・地域の医療機関と専門医療機関(後遺症外来)の連携による体制は継続
相談窓口	・ 感染対策等 : 保健所等に対応 ・ 予防接種 : 県・市町村に対応	ワクチン接種	・ 市町村による定期接種として年1回、秋冬に実施(対象)65歳以上等 ※一部自己負担あり

国との連携 ~今後の感染症危機に備える~

- **新型インフルエンザ等対策推進会議(第10回)** (R6.3.26)
新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定の議論 (全国知事会から委員として参画/地方との連携・財源確保等を意見)
- **国立健康危機管理研究機構準備委員会(第3回)** (R6.3.26)
地方組織とのネットワークを構築するための具体的方策について議論 (全国知事会からヒアリング参加/知事会の外部理事参加等を意見)

小林製薬 紅麴に係る 相談窓口の開設

○各保健所等に**相談窓口**を設置

<各保健所生活安全課>
倉吉保健所 0858-23-3117
米子保健所 0859-31-9321
鳥取市保健所 0857-30-8552

<消費生活センター>
西部消費生活相談室
0859-34-2648

○**専用ホームページ**の開設

・紅麴に関連する
自主回収対象
食品等を掲載



<注意喚起>
○紅麴を含んだ食品を購入した方は、**喫食を直ちに中止してください**

○これまでに喫食し、身体に不安や異常がある方は、**医療機関又は最寄りの保健所に相談してください**

本日午後に連絡会議を開催

「鳥取サンド巡ルート」開設！

— サンドたちと鳥取の名所を歩いて巡る冒険の旅に出かけよう！ —

キャンペーン
特設サイト



『ポケモンGO』内におすすめの県公式観光ルート「鳥取サンド巡ルート」を開設！

特典満載の「鳥取サンド巡ルート」キャンペーン開始！（R6.4.1～R7.2.10）



鳥取サンド巡ルート（10ルート）

- [東部] 鳥取砂丘ルート、白兔海岸ルート、浦富海岸ルート
- [中部] 倉吉白壁土蔵群ルート、三朝温泉ルート、県立美術館ルート、神崎神社ルート
- [西部] 米子城ルート、皆生温泉ルート、大山参道ルート

キャンペーン特典

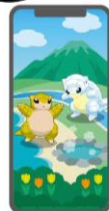
1

県公式ルートで「サンド」の出現率アップ



2

1ルートクリアから応募でもれなくオリジナルスマホ壁紙



3

さらに！

抽選で鳥取旅行券やサンドコラボグッズが当たる！

- ・鳥取ペア旅行券 5名様
- ・鳥取オリジナル「サンドのルーズリングノート」10名様
- ・鳥取オリジナル「サンドのカードケース」10名様

サンドのポケふた周遊スタンプラリー「トリパス」

県内全市町村にあるポケモンのマンホール「ポケふた」の近くに設置されたスタンプを2種以上集めるとプレゼントが当たります！（R6.4.1～R7.2.10）

入江聖奈さんも「鳥取サンド巡ルート楽しみ大使」就任！
賛同！

任命式後に鳥取砂丘ルートで冒険の旅へ！（4/21）

